

大曲仙北広域市町村圏組合

公共施設等総合管理計画

～ 一般廃棄物処理施設計画 ～



大曲仙北広域市町村圏組合

令和6年5月 策定

公共施設等総合管理計画
～ 個別施設計画 ～

目次

第1章 計画の概要

1. 計画の目的
2. 計画の位置づけ
3. 計画期間
4. 対象施設
5. 進行管理

第2章 施設の状態等

1. 施設の利用状況
2. 施設の維持管理費
3. 施設の状態
4. これまでの主な整備・改修状況

第3章 管理整備の方針

1. 管理整備に関する検討のこれまでの経緯
2. 対策の優先順位に関する基本的な考え方
3. 長寿命化の基本方針
4. 今後の整備方針と改修等スケジュール
5. 改修等の事業費と財源
6. フォローアップの実施

個別票

第1章 計画の概要

1. 計画の目的

全国の自治体では、これまでに建設された公共施設等が今後大量に大規模改修や建て替えの時期を迎えることから、その老朽化対策が大きな課題とされ、さらに人口減少により公共施設等の需要が変化することが想定されています。

一部事務組合である当組合における運営事業の大部分が、行政経費の中でも義務的経費に分類されますが、組合構成市町の財政のひっ迫、今後も見込まれる人口減、少子高齢化の進展などにより、当組合の公共施設等を取り巻く環境は一層厳しくなりつつある中、今後、建物の大規模改修や建て替え、設備等の更新が必要となってくることが予測されます。

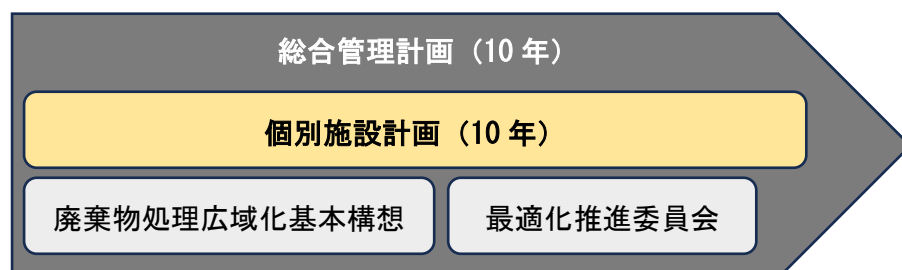
これらの課題を解決するためには、当組合の公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化を計画的に行い、組合構成市町の財政負担の軽減・平準化を図り、効率的・効果的な行政サービスを提供しなくてはなりません。

そこで、総務大臣より各自治体に対し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定に取り組むよう、通知が発出されたことを受け、平成30年3月に当組合の公共施設等の計画的な管理及び最適な配置に関する基本的な方針を定めた「大曲仙北広域市町村圏組合公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」）を策定しました。

さらに令和3年1月には個別施設計画等を踏まえた公共施設等総合管理計画の見直しが求められたため、この度改めて「大曲仙北広域市町村圏組合一般廃棄物処理施設計画」（以下「本計画」）を策定し、総合管理計画で示した基本的な方針を具現化するべく、個別施設ごとに老朽化の状態や今後の方向性、方向性に伴う事業費などについてまとめ、将来に向けて、施設運用の効率化や計画的な設備補修及び更新による施設の長寿命化を図る取組みの指針とするものです。

2. 計画の位置づけ

本計画は、公共施設等の更新、統廃合、長寿命化などの取組みに当たっての基本的な考え方である総合管理計画の下位に位置づけ、具体的な施設の整備方針を示すものであり、平成30年3月に策定した大曲仙北広域廃棄物処理広域化基本構想及びその後発足した大曲仙北広域市町村圏組合廃棄物処理最適化推進委員会での検討結果を踏まえ、長期に施設の維持管理を推進するための計画です。



3. 計画期間

総合管理計画の計画期間は令和 6 年度から令和 15 年度までの 10 年間の計画期間としているため、本計画も令和 6 年度から令和 15 年度までの 10 年間の計画期間とし、以降、必要に応じて計画の見直しを行います。

4. 対象施設

本計画での対象施設は次のとおりです。

施設名	所在地	建築年度	延床面積	主体構造
中央ごみ処理センター	大仙市花館字下大戸下川原 2-10		17,143.74 m ²	
処理棟		H14 年度	8,762.42 m ²	RC 造
リサイクルプラザ		H14 年度	6,858.03 m ²	RC 造
第 1 スtockヤード棟		H14 年度	1,158.00 m ²	RC 造
計量棟		H14 年度	144.04 m ²	RC 造
洗車機置場		H14 年度	6.00 m ²	RC 造
第 2 スtockヤード棟		H22 年度	215.25 m ²	RC 造
中央し尿処理センター	大仙市花館字下大戸下川原 3-24			
処理棟		S60 年度	6,067.13 m ²	RC 造
南外一般廃棄物最終処分場	大仙市南外字矢向 37-1			
処理棟		H20 年度	6,823.46 m ²	RC 造
北部ごみ処理センター	仙北市角館町園田古川 37-3		6,254.62 m ²	
管理棟		H10 年度	863.69 m ²	RC 造
渡り廊下		H10 年度	23.35 m ²	RC 造
処理棟		H10 年度	4,667.01 m ²	SRC 造
ストックヤード棟		H10 年度	700.57 m ²	鉄骨造
北部し尿処理センター	仙北市角館町園田古川 37-3		2,816.83 m ²	
処理棟		H21 年度	2,617.68 m ²	RC 造
車庫棟		H21 年度	141.10 m ²	鉄骨造
渡り廊下		H21 年度	58.05 m ²	鉄骨造
角館一般廃棄物最終処分場	仙北市角館町下延明通り 77		1,058.18 m ²	
処理棟・トラックスケール		H13 年度	759.83 m ²	SRC 造
車庫棟・ストックヤード棟		H13 年度	298.35 m ²	鉄骨造
西木一般廃棄物最終処分場	仙北市西木町小山田字高野 93-3		780.30 m ²	
処理棟		H13 年度	597.94 m ²	SRC 造
ストックヤード棟		H13 年度	182.36 m ²	SRC 造
田沢湖一般廃棄物最終処分場	仙北市田沢湖生保内字八木沢台 16-2			
処理棟		H14 年度	449.06 m ²	SRC 造

5. 進行管理

①実施計画の作成

施設所管課は、今後 10 年間で実施しようとする改修・修繕等の内容について実施計画を作成し、予算編成担当課と協議します。

施設所管課は、実施計画全体の中から必要に応じて予算編成担当課及び管財担当課と協議の上、実施する改修・修繕等の内容について精査し、当該年度の予算要求について決定します。

また、組合構成市町担当課長会議等において、毎年ローリング方式により更新する 10 年間の主要事業（財政シミュレーション）について説明します。

②改修・修繕等の実施

実施計画及び当該年度の予算に基づき、施設所管課は工事に関する発注や計画の事務を行い、改修・修繕等を実施します。

③改修・修繕等の内容の記録、評価

竣工後は、施工内容について評価を行います。改修・修繕等の内容は施設管理台帳に記録し、個別施設計画の見直しの際に反映させます。

第2章 施設の状態等

1. 施設の利用状況

搬入量

(単位：t)

施設名	過去3力年			将来推計
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和15年度
中央ごみ処理センター	36,501	36,423	34,230	36,252
中央し尿処理センター	47,989	49,624	47,556	36,647
北部ごみ処理センター	8,532	8,467	7,969	0
北部し尿処理センター	14,541	14,565	14,169	11,498
南外一般廃棄物最終処分場	2,177	2,543	2,127	1,000
角館一般廃棄物最終処分場	1,109	1,091	1,048	1,000
西木一般廃棄物最終処分場	308	303	257	0
田沢湖一般廃棄物最終処分場	42	58	60	40

残余容量

(単位：m³)

施設名	過去3力年			将来推計
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和15年度
南外一般廃棄物最終処分場	20,763	19,219	17,610	1,850
角館一般廃棄物最終処分場	37,345	36,298	35,277	25,067
西木一般廃棄物最終処分場	3,833	3,116	2,739	0
田沢湖一般廃棄物最終処分場	57,294	57,184	56,975	54,885

2. 施設の維持管理費

施設維持管理費 [※]

(単位：千円)

施設名	過去3力年			将来推計
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和15年度
中央ごみ処理センター	389,263	428,426	467,758	460,000
中央し尿処理センター	153,680	211,329	225,412	83,000
北部ごみ処理センター	309,741	343,421	275,710	0
北部し尿処理センター	10,652	118,595	109,390	100,000
南外一般廃棄物最終処分場	38,799	38,799	38,799	39,000
角館一般廃棄物最終処分場	25,464	25,273	25,240	25,000
西木一般廃棄物最終処分場	25,919	25,434	25,240	0
田沢湖一般廃棄物最終処分場	23,252	24,406	25,240	25,000

※施設改修費や設備更新費等を除く施設運営費。

3. 施設の状態

現在の圏域内の一般廃棄物処理は、大仙市と美郷町から排出される廃棄物は中央ごみ処理・し尿処理センター、南外一般廃棄物最終処分場で、仙北市から排出される廃棄物は北部ごみ処理・し尿処理センター、角館・西木・田沢湖一般廃棄物最終処分場で受け入れ、適正処理しています。

中央ごみ処理センター、北部ごみ処理センターは稼働から20年以上が経過し、中央し尿処理センターに至っては経過年数38年、老朽化率100%を超えており、定期的に各施設の設備や機器類を交換・修繕を行い施設の延命化を図っていますが、老朽化による設備の劣化が顕著となっています。そのため、中央し尿処理センターは令和7年度の新施設稼働に向けて改築工事が進められています。

また、稼働から20年前後経過した4つの一般廃棄物最終処分場は、それぞれの埋立残余量を考慮し、廃棄物搬入の施設間融通や民間施設への搬出などにより、バランスの取れた施設利用となるような調整について検討しています。

施設名	耐用 年数	経過 年数	老朽化率 [※]	老朽化状況
中央ごみ処理センター				
処理棟	35	21	60.0%	設備・機器類の老朽化が顕著
リサイクルプラザ	35	21	60.0%	
第1ストックヤード棟	38	21	55.3%	
計量棟	38	21	55.3%	
洗車機置場	38	21	55.3%	
第2ストックヤード棟	38	13	34.2%	
中央し尿処理センター				
処理棟	35	38	108.6%	施設・設備全体の老朽化が顕著
南外一般廃棄物最終処分場				
処理棟	35	15	42.9%	民間最終処分場への搬入により延命化
北部ごみ処理センター				
管理棟	50	25	50.0%	
渡り廊下	50	25	50.0%	
処理棟	35	25	71.4%	設備・機器類の劣化が進行
ストックヤード棟	31	25	80.6%	
北部し尿処理センター				
処理棟	35	14	40.0%	設備・機器類の劣化が進行
車庫棟	31	14	45.2%	
渡り廊下	38	14	36.8%	
角館一般廃棄物最終処分場				
処理棟・トラックスケール	35	22	62.9%	設備全般の老朽化が進行
車庫棟・ストックヤード棟	31	22	71.0%	
西木一般廃棄物最終処分場				
処理棟	35	22	62.9%	設備全般の老朽化が進行
ストックヤード棟	38	22	57.9%	
田沢湖一般廃棄物最終処分場				
処理棟	35	21	60.0%	施設・設備の老朽化が進行

※老朽化率＝経過年数÷耐用年数×100（令和6年3月31日時点）

耐用年数

廃棄物処理施設の設備耐用年数は20～25年程度とされているが、基幹的設備改良工事を実施し10年程度の延命を図っているため35年としている。

4. これまでの主な整備・改修状況

最近の主な整備・改修状況（総事業費 1,300 千円以上の主な事業）

※長期包括運営業務委託をしている施設は、想定事業・事業費

対象施設	中央ごみ処理センター
事業名	中央ごみ処理センター定期修繕工事（令和 5 年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【各クレーン年次点検整備、廃熱ボイラ及び容器清掃点検整備、焼却炉耐火物補修、焼却炉煙道耐火物補修、計装用空気圧縮機分解整備、減温塔内部清掃点検整備、DCS 簡易点検整備、ボイラ水管一部プロテクター交換、冷暖房設備保守点検整備】
総事業費(財源)	想定事業費 197,435,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

事業名	中央ごみ処理センター定期修繕工事（令和 4 年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【各クレーン年次点検補修、廃熱ボイラ及び容器清掃点検整備、各所耐火物補修工事、焼却炉煙道耐火物補修、焼却炉及びボイラ耐火物補修、雑用空気圧縮機清掃点検整備、排ガス分析計（4 成分計）保守点検整備、減温塔内部清掃点検整備、DCS 簡易点検補修、ボイラ水管一部プロテクター交換、冷暖房設備保守点検整備】
総事業費(財源)	想定事業費 249,575,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

事業名	中央ごみ処理センター定期修繕工事（令和 3 年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【各クレーン年次点検補修、廃熱ボイラ及び容器清掃点検整備、各所耐火物補修工事、ストーカ分解点検整備、排ガス分析計（4 成分計）保守点検整備、ろ過式集じん器ろ布交換、減温塔内部清掃点検整備、ボイラ水管一部プロテクター交換、事務所棟屋上ガラリフード補修、横型剪断破碎機電動機分解整備、冷暖房設備保守点検整備、蒸気タービン分解整備、回転破碎機電動機分解整備、No. 2 混錬機セルライナ交換】
総事業費(財源)	想定事業費 249,575,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

対象施設	中央し尿処理センター
事業名	中央し尿処理センター定期修繕工事（令和 5 年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【ポンプ整備補修（モノポンプ、循環ポンプ）】
総事業費（財源）	想定事業費 7,037,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

事業名	中央し尿処理センター定期修繕工事（令和 4 年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【生し尿・浄化槽汚泥前処理設備修理、脱水機分解修理、脱臭装置修理、バイエル・サイクロ減速機分解修理、ポンプ整備補修（モノポンプ、循環ポンプ）】
総事業費（財源）	想定事業費 23,294,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

事業名	中央し尿処理センター定期修繕工事（令和 3 年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【水中曝気装置分解修理、脱水機分解修理、砂ろ過塔ろ過剤交換・内部塗装、バイエル・サイクロ減速機分解修理、薬品混和槽攪拌機分解修理、ポンプ整備補修（モノポンプ、循環ポンプ）】
総事業費（財源）	想定事業費 62,834,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

対象施設	南外一般廃棄物処分場
事業名	南外一般廃棄物処分場定期修繕工事（令和 5 年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【R0 装置加圧装置点検整備、加圧ポンプ分解整備、乾燥・固化装置点検整備】
総事業費（財源）	想定事業費 21,021,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

事業名	南外一般廃棄物処分場定期修繕工事（令和 4 年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【R0 装置加圧装置点検整備、ボイラ定期整備、各種ポンプ整備】
総事業費（財源）	想定事業費 21,021,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

事業名	南外一般廃棄物処分場定期修繕工事（令和 3 年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【R0 装置加圧装置点検整備、加圧ポンプ分解整備、乾燥・固化装置ディスク交換】
総事業費（財源）	想定事業費 21,021,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

対象施設	北部ごみ処理センター
事業名	北部ごみ処理センター更新工事（令和５年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【飛灰処理室給排気ファン整備補修、混練造粒機整備補修、耐火材補修工事、煙道補修工事】
総事業費（財源）	想定事業費 130,183,000（一般財源） ※長期包括運營業務委託

事業名	北部ごみ処理センター定期修繕工事（令和４年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【焼却炉耐火材整備補修（天井部、C上部）、ガス調温室ダスト排出機整備補修、ガス冷却室ダスト排出機整備補修、集じん器ダスト排出機整備補修、No.1 熱風循環送風機整備補修】
総事業費（財源）	112,750,000（一般財源）

事業名	北部ごみ処理センター飛灰搬出装置更新工事（令和４年度）
事業内容	経年劣化によりローラー部及びベアリング部、ケーシング、電動機等が腐食したため交換するもの。
総事業費（財源）	36,300,000（一般財源）

事業名	北部ごみ処理センター定期修繕工事（令和３年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【ごみクレーンバケット整備補修、焼却炉耐火材整備補修、No.1 熱風循環送風機整備補修、熱風循環ヒーター整備補修、飛灰処理施設貯留槽ホッパー整備補修】
総事業費（財源）	104,500,000（一般財源）

事業名	北部ごみ処理センター2号熱風循環送風機更新工事（令和３年度）
事業内容	経年劣化により羽部及び軸部が腐食したため交換するもの。
総事業費（財源）	4,070,000（一般財源）

対象施設	北部し尿処理センター
事業名	北部し尿処理センター施設保全業務（令和５年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【水槽内浚渫、活性炭脱臭設備充填物交換、破砕装置点検整備、前処理設備点検整備、ブロワ設備点検整備、消泡設備点検整備、活性炭吸着塔点検整備、コンプレッサー設備点検整備、沈砂設備点検整備、焼却施設点検整備、晶析槽廻り配管補修、ガス分析装置点検整備、電気計装装置・データロガー装置機能増設、工業用計器点検整備、高速シャッター緊急補修、電気温水器緊急修繕、エアコン室外機緊急修繕、ポンプ整備補修（無閉塞渦巻・特殊渦巻ポンプ、一軸ネジポンプ）】
総事業費（財源）	想定事業費 83,904,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

事業名	北部し尿処理センター定期修繕工事（令和４年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【前処理設備補修、ブロア設備点検整備、スクリーコンベヤ整備補修、ポンプ整備補修（破砕ポンプ、無閉鎖渦巻ポンプ、特殊渦巻ポンプ、一軸ネジポンプ、片吸込渦巻ポンプ）】
総事業費（財源）	76,879,000（一般財源）

事業名	北部し尿処理センター定期修繕工事（令和３年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【ブロア設備点検整備、脱水設備補修、脱臭設備補修、放流水監視装置補修、ポンプ整備補修（破砕ポンプ、無閉鎖渦巻ポンプ、特殊渦巻ポンプ、一軸ネジポンプ、片吸込渦巻ポンプ）】
総事業費（財源）	57,200,000（一般財源）

対象施設	角館一般廃棄物最終処分場
事業名	北部一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設定期修繕（令和５年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【活性炭吸着塔ろ材交換、槽内清掃、UV計点検整備、原水ポンプ分解整備】
総事業費（財源）	想定事業費 7,176,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

事業名	北部一般廃棄物最終処分場定期修繕工事（令和４年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【反応槽攪拌機更新、屋外調整池電気設備修繕、屋外調整池水位計更新、屋外調整池攪拌機引揚げ点検、脱窒素槽攪拌機交換、ポンプ交換（循環ポンプ、逆洗ポンプ）】
総事業費（財源）	2,508,000（一般財源）

事業名	北部一般廃棄物最終処分場定期修繕工事（令和３年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【脱窒素槽攪拌装置整備補修、UV計装サンプリングポンプ、計器交換整備（PH計、ORP計、DO計）、ポンプ整備補修（ろ過原水ポンプ、放流ポンプ）】
総事業費（財源）	2,079,000（一般財源）

対象施設	西木一般廃棄物最終処分場
事業名	北部一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設定期修繕（令和５年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの【活性炭吸着塔ろ材交換、槽内清掃、UV計点検整備補修、ポンプ交換（取水ピットポンプ、ろ過原水ポンプ、逆洗ポンプ、トラックスケール排水ポンプ）】
総事業費（財源）	想定事業費 7,176,000（一般財源） ※長期包括運営業務委託

事業名	北部一般廃棄物最終処分場定期修繕工事（令和４年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの【ポンプ交換（原水ポンプ、放流ポンプ）】
総事業費（財源）	2,347,000（一般財源）

事業名	北部一般廃棄物最終処分場定期修繕工事（令和３年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの【計器交換整備（PH計、ORP計、DO計）、砂ろ過自動弁交換】
総事業費（財源）	1,624,000（一般財源）

対象施設	田沢湖一般廃棄物最終処分場
事業名	北部一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設定期修繕（令和５年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【活性炭吸着塔ろ材交換、槽内清掃、UV計点検整備新設側取水ポンプ交換】
総事業費(財源)	想定事業費 7,176,000（一般財源） ※長期包括運營業務委託

事業名	北部一般廃棄物最終処分場定期修繕工事（令和４年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【コンプレッサー整備補修、ポンプ交換（雑排水ポンプ、井水用水ポンプ）】
総事業費(財源)	3,375,000（一般財源）

事業名	北部一般廃棄物最終処分場定期修繕工事（令和３年度）
事業内容	経年劣化による機器等の更新及び整備補修を行い、性能維持を図るもの。 【UVサンプリングポンプ交換、計器交換整備（PH計、DO計交換）】
総事業費(財源)	1,980,000（一般財源）

事業名	田沢湖一般廃棄物最終処分場遮光シート改修工事（令和３年度）
事業内容	経年劣化により遮光シート及び保護マットが剥離したため、張り替えるもの。
総事業費(財源)	2,310,000（一般財源）

第3章 管理整備の方針

1. 管理整備に関する検討のこれまでの経緯

旧大仙美郷環境事業組合及び仙北市が運営していた一般廃棄物処理施設を平成31年4月から当組合で運営するため、平成30年3月に広域化に向けた「大曲仙北地域廃棄物処理広域化基本構想」を策定し、公共施設の中でも重要な生活インフラの一つである一般廃棄物処理の老朽化や人口減少に伴う廃棄物搬入量の減少等の課題について、将来にわたって適正に維持するとともに安定した廃棄物処理を継続するための基本的な考えと今後の計画を示しています。

平成30年度から令和4年度までの5年間を前期、その後の5年間を中期、更にその後の5年間を後期として、施設の更新や基幹的設備の改良等の工事計画の他、施設の最適運営を目指した長期包括運營業務委託事業への移行についても中期的計画で方針をまとめています。

さらに、組合構成市町担当課長及び組合職員で構成される大曲仙北広域市町村圏組合廃棄物処理最適化推進委員会を発足し、広域化基本構想の具体化と課題解決に向けた協議・検討を進めています。

2. 対策の優先順位に関する基本的な考え方

耐用年数が経過し、老朽化率が高い施設を基本とし、施設の稼働率が高く、施設利用者が多い等、利用者に対する影響度がより大きい施設から順に改修・修繕等を行うこととします。

整備する対象の選定にあたっては、利用者の安全安心を確保するため、施設（建物・設備）の損傷・劣化等に対する修繕・改修を第一優先とし、次に利用者に対する利便性の確保、次いでバリアフリー対策（トイレ洋式化、手すり設置）等とします。

施設全般が老朽化していることもあり、緊急工事等も懸念されるため、優先順位によらないことも想定されます。

3. 長寿命化の基本方針

今後も活用していく施設は、その役割や機能、特性に合わせた対策方法や優先順位を決定し、重大な損壊等が生じる前に予防的修繕を実施することにより、長寿命化を図ることで更新需要を分散します。

4. 今後の整備方針と改修等スケジュール

「大曲仙北広域市町村圏組合廃棄物処理広域化基本構想」において、前期（H30 年度～R4 年度）、中期（R5 年度～R9 年度）、後期（R10 年度～R14 年度）の期間中のうち、中期及び後期に想定される各種工事について下記のように示しています。

また、「大曲仙北広域市町村圏組合廃棄物処理最適化推進委員会」において、北部ごみ処理センターの運用終了による中央ごみ処理センターへの廃棄物処理機能の集約時期と、それに伴う中央ごみ処理センターの基幹的設備改良工事及びその後の新たな統合ごみ処理施設の建設時期についても検討されています。

さらに、各一般廃棄物最終処分場の年間埋立量及び埋立残余量から、相互融通による廃棄物搬入受入れの優先順位等の検討もされています。

【基本構想中期】

①中央ごみ処理センター

稼働から 20 年以上経過し設備の著しい老朽化に加え、北部ごみ処理センターが令和 15 年度に休止（廃止）予定であり、仙北市から排出される廃棄物の受入れも開始することから、令和 7 年度から令和 10 年度までの 4 年間で基幹的設備の改良工事を行い、設備の機能回復及び施設の延命化を図ります。

②中央し尿処理センター

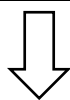
稼働から 40 年近く経過したことから、令和 7 年度の供用開始を目途に、令和 4 年度から令和 6 年度までの 3 年間で新施設の建替工事を施工しています。新施設稼働後は旧施設の解体工事を令和 7 年度から令和 8 年度にかけて施工予定です。

【基本構想後期】

③北部し尿処理センター

稼働から 20 年を経過する令和 13 年度から令和 14 年度までの 2 年間で基幹的設備の改良工事を行い、設備の機能回復及び施設の延命化を図ります。

施設名	方向性	行動計画	管理方法	説明
中央ごみ処理センター (リサイクルプラザ)	存続	大規模改修	長期包括 運営委託	R7 年度から R10 年度まで (リサイクル プラザは R11 年度から 12 年度まで) 基 幹的設備改良工事を実施
中央し尿処理センター	存続	更新	長期包括 運営委託	R7 年度からの稼働を目途に R4 年度から R6 年度にかけて新施設建設工事施工中
北部ごみ処理センター	廃止	除却	—	R15 年度に休止 (廃止) しその後は中央ご み処理センターで受入れ
北部し尿処理センター	存続	大規模改修	長期包括 運営委託	R13 年度から R14 年度まで基幹的設備改 良工事を施工
南外 一般廃棄物最終処分場	存続	現状維持	長期包括 運営委託	民間処分場への搬出と今後北部三処理 場への搬出により延命化
角館 一般廃棄物最終処分場	存続	現状維持	長期包括 運営委託	各最終処分場の年間埋立量及び埋立残 余量から相互融通による廃棄物搬入受 入れについて優先順位等の検討が必要 【埋立終了見込み年度】 南外 : R16 年度 角館 : R32 年度 西木 : R12 年度 田沢湖 : R95 年度
西木 一般廃棄物最終処分場	廃止	除却	—	
田沢湖 一般廃棄物最終処分場	存続	現状維持	長期包括 運営委託	



施設名	今後のスケジュール									
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
中央し尿処理センター	更新	(解体)	(解体)							
中央ごみ処理センター		改修	改修	改修	改修					受入
リサイクルプラザ						改修	改修			
北部し尿処理センター								改修	改修	
北部ごみ処理センター										廃止
南外最終処分場										
西木最終処分場							廃止			

【参考】

施設名	今後のスケジュール										
	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26
中央ごみ処理センター											廃止
統合ごみ処理施設								建設	建設	建設	稼働
南外最終処分場	廃止										

5. 改修等の事業費と財源

施設名	事業年度	事業費 (千円)	事業内容	財源 (千円)
中央し尿処理センター	R6	1,947,076	新施設建設工事	国庫補助 (374,568) 一般財源 (1,572,619)
	R7	537,099	旧施設解体工事	組合債 (537,000) 一般財源 (99)
	R8	363,299		組合債 (363,200) 一般財源 (99)
中央ごみ処理センター	R7	66,798	基幹的設備改良工事	国庫補助 (16,233) 一般財源 (50,565)
	R8	1,020,460		国庫補助 (248,366) 一般財源 (772,094)
	R9	1,092,592		国庫補助 (266,033) 一般財源 (826,559)
	R10	1,555,119		国庫補助 (379,366) 一般財源 (1,175,753)
リサイクルプラザ	R11	500,000		一般財源 (500,000)
	R12	600,000		一般財源 (600,000)
北部し尿処理センター	R13	270,600	基幹的設備改良工事	国庫補助 (88,000) 一般財源 (182,600)
	R14	1,071,400		国庫補助 (357,000) 一般財源 (714,400)

※事業費等は、調査・設計の結果を受けて変動する場合があります。

10 年後（令和 15 年度）の施設状況比較

総延床面積	
現在	10 年後（R15 年度）
42,153.15 m ²	35,118.23 m ²

維持管理コスト	
現在 [※]	10 年後（R15 年度）
1,128,415 千円	732,000 千円

施設改修・設備更新コスト	
現在 [※]	10 年後（R15 年度）
498,793 千円	341,000 千円

※令和 3 年度から令和 5 年度までの 3 カ年平均

◇施設の方向性等の説明

方向性	行動計画	説明
存続	現状維持	現状のまま維持
	大規模改修	長寿命化等のため、建物を全面的に改修
	一部改修	長寿命化等のため、建物の一部を改修
	多機能化	分類の違う別の目的の施設の機能を取り入れる
	集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約
	広域化	他自治体と施設を共用し、コストを分担
	更新	老朽化等のため、建物を更新
廃止	民間移譲	民間事業者等へ譲渡（売却、貸与等）
	転用	施設機能を廃止し、多用途へ転用
	地域移管	利用が地域に限定されている場合、地域へ移管
	除却（廃止）	施設を解体、除却し、機能も廃止

◇施設の方向性等の説明

管理方法		説明
直営		組合の直営 (個別の業務ごとに私法上の契約で委託する方式を含む)
民間委託	指定管理	指定管理者による管理運営方式
	長期包括運営委託	施設の運営を長期間かつ包括的に委託する方式
	P F I など	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方式

6. フォローアップの実施

計画を着実に推進していくため、P D C Aサイクルにより評価、見直しを行いながら進捗管理をしていきます。

計画 計画の策定

実行 計画に基づく施設管理の実施

評価 計画の状況把握、課題の抽出

改善 評価を踏まえた改善策の検討、
時期方針の決定

